はじめに

高度情報通信技術の普及と深化により, 職業や雇用形態が著しく変容し, グローバル化の波も打ち寄せている。

このような変化が激しく先の見えない不確実な時代にあって, 未来を切り開いていく力としてのデータ分析・解析能力が今, 強く求められている。溢れるほどの情報・データから

問題・課題を見出し,

価値のあるデータを抽出する力,

分析・解析し, 意思決定する問題解決能力

である。

このデータ分析・解析力は, 特に , 経済・ビジネス・社会分野等の文科系分野に強く求められる所であるが, その分析には ICT の利用が不可欠である。近時 POS システム, ビッグデータ技術をはじめとした通信システムの普及により, 流通等に関するあらゆるデータを取得することが可能となった。データの検索及び収集, 分析等のどの段階においても, ICT の活用は不可欠であり, データ分析と表裏一体の関係にある。

これからの社会を生き抜く学生諸君にとって, このようなデータ分析力と ICT を駆使していく力は, 極めて必要かつ重要な力となる。

データ分析とは, 現象の特徴を捉えるために, その現象を表す一塊の情報を統計的・数理的に分析･表現することを言う。統計的な考え方や手法を基盤とし, また多く用いられるが, その分野に応じた独特の分析方法や数理的なアイディアも多く存在する。

以上を鑑みて, 本書は, 特に文科系学部で学ぶ学生諸君を対象として構成され, 第 1 部「実証分析の基礎と応用」で, 記述統計を基礎とした実証分析や統計的手法について学び, 続く第 2 部「経済活動におけるデータ分析」では, 各分野, 特に経済・ビジネス分野において行われているデータ分析や数理的な手法・アイディアを学ぶものとした。

第 1 部を二宮が､第 2 部を森が執筆した。

本書で用いられる課題, 練習問題等の教材ファイルは, 共立出版の下記のサイトにアップロードされている。

http://www.kyoritsu-pub.co.jp/bookdetail/9784320123823

また, 本書で用いられる Excel のバージョンは 2010 であるが, 2013 に対応した方法も, 同サイトに含まれている。ご活用ください。

末筆ながら, 本書の作成に辛抱強く尽力して頂いた, 共立出版の中川暢子氏に心より感謝の言葉を申し上げます。

2015 年 2 月

森 園子・二宮智子